



## 1センチでも前へ

副校長 尾澤 佳彦

この原稿を書いている今現在、サッカーワールドカップのアジア最終予選 日本対中国戦の結果は出ていません。どちらが勝つのでしょうか。ちょっとワクワクしています。

私は、昭和の少年でしたのでスポーツは野球派です。ですから、日頃からそんなに熱心に、サッカーの試合を見るわけではないのですが、やはりこういった大きな大会(ワールドカップとかオリンピックとか)になると気になってしまいます。知っている選手もそんなにいないのに、テレビの前でボールの動きに一喜一憂してしまっている自分がいます。

そんな私でも、サッカーに熱中した時代がありました。Jリーグが開幕した1993年頃のお話です。世間の熱狂ぶりはものすごく、その熱気は野球派の私をサッカーに振り向かせるのに十分でした。綺羅星の如く、各チームにはスター選手たちがそろっていたのです。

そんな中でも、私にとって特に輝いて見えていたのは、何と言ってもヴェルディ川崎に在籍していた「キングカズ」こと三浦知良選手でした。三浦選手は、今でも現役選手として活躍しています。何十年もプロフェッショナルのアスリートとして活躍するためには、不断の努力が必要でしょう。

その三浦選手がこんなことを言っています。

失敗して、考え悩むこともあるだろうけど、立ち止まっていちゃいけない。  
一気に100メートルも進まなくていい。1センチでもいいから前に進もう。

長い選手生活の中ではすべてが成功というわけではなく、キングカズですら多くの失敗を繰り返してきたと思います。でも彼はへこたれませんでした。立ち止まりませんでした。失敗をばねにして、先へ進んだのです。少しずつ、少しずつ…。

2月の声が聞こえてくると、新しい学年をつい意識してしまいます。本校の子どもたちもそうだと思います。とくに6年生は中学校での新しい生活についていろいろと考えていることでしょう。でも、その中では、自分の思う通りにならないことが出てくるかもしれません。悩んでしまうことがあるかもしれません。失敗と感ずることだって…。でも、わずかな距離であっても常に前進し続ければ、必ず前に進むことができるのです。高みを越えることだってできるはずですよ。

鳥が丘小学校の教職員は、子どもたちが失敗したときに一緒に悩み考え、でも立ち止まらず1センチでも前へ進めるように、一緒に歩いていける存在でありたいと思います。今年度も残り少なくなりました。保護者の皆さんや地域の皆さんのご協力を仰ぎながら、子どもたちにとってより良い学校を目指していきたいと思っています。